



貧しい村の女の子にも、
学校に通えるしあわせを



日本での役割を終えたランドセルをアフガニスタンの子どもたちに贈る

思い出のランドセルギフト

ランドセル
回収期間

春

2016年 3月10日～5月31日

秋

2016年 9月1日～10月17日

2004年から
2015年まで **159,481** 個のランドセルを
送りました



ジョイセフ
JOICFP

途上国の妊産婦と女性を守る

ランドセルの贈り方 かんたん3ステップ

1



寄贈するランドセルを準備する

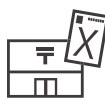
未使用のノート、鉛筆、色鉛筆、消しゴム、鉛筆削りがあればランドセルの中に入れる。

! 宗教上の理由で、アフガニスタンには豚革製のランドセルは贈れません！

豚革製かどうかは、ランドセルの裏蓋側でご確認ください。写真のような毛穴があるのは豚革製の特徴です。



2



海外輸送経費募金の振込をする

1個につき1,800円を振込むか、書き損じはがき(52円)46枚をジョイセフへ送る。

海外輸送経費振込口座

【郵便振替】

※ 振込手数料免除口座(寄付金の場合)

□ 口座番号 00190-2-78370

□ 口座名義 公益財団法人ジョイセフ

※ 通信欄に「ランド」と記載してください

※ 銀行振込/クレジット/コンビニ支払いの方法はジョイセフのサイトまで

ジョイセフ ランドセル

検索

3



ランドセルを指定倉庫に送る

ランドセルは箱か袋に入れて送ってください(簡易な包装で大丈夫です)。

ランドセルの送り先住所

〒224-0053

神奈川県横浜市

都筑区池辺町4261-13

横浜貿易倉庫内サンライト

「思い出のランドセルギフト」係

※ 倉庫までの送料はご負担をお願いします
※ 楽天ゆうパックもご利用できます

どうしてランドセル？

アフガニスタンの子どもたち、特に女の子の就学に役立てる活動です。タリバン政権時代には、女性が教育を受けることさえ禁止されていました。そのため現在も15歳以上の女性の8割以上は読み書きができません。さらに、女の子は早ければ12~13歳で結婚させられることも。アフガニスタンは、妊娠・出産が原因で亡くなる女性の割合が日本の約80倍もあります。その命を救う第一歩は、女性自身が知識を持つこと。読み書きができることで、自分と家族の健康を守ることにもつながります。ランドセルは、女の子が学校へ行くための、きっかけづくりに大きく役立っています。

学校での取り組み紹介

山形県立山形東高等学校では生徒会が中心となって2012年から「えがお大作戦」として継続支援をいただいています。2014年には近隣6校と協働で活動を展開。夏休みに合同街頭募金を実施し、文化祭でもランドセルや募金、学用品も集めました。高校生の活動は地域の人たちを巻き込んだ大きな活動となっています。



クラス、PTA、生徒と保護者の皆さまの協働で参加しませんか？

アフガニスタンからのメッセージ

住んでいた村が武装勢力に襲われて、家族でファームハダ避難民キャンプに逃れてきました。お父さんは仕事を失くし、兄が畑での日雇い労働をして家族を支えています。学用品を買うことができなかったため、ランドセルと文房具のプレゼントがとてもうれしかったです。

ファームハダキャンプ女子学校 モジュガンさん



思い出のランドセルギフト
Facebook ページで
最新の情報をご紹介します



ジョイセフ
JOICFP

途上国の妊産婦と女性を守る

お問い合わせはこちら

公益財団法人ジョイセフ

✉ resource@joicfp.or.jp

📞 03-3268-5875

〒162-0843

東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館

詳しい送り方はホームページを見てね！

ジョイセフ

検索

www.joicfp.or.jp